

社 報



謹 賀 新 年

建通新聞に取り上げていただきました

アルミ支柱の試験



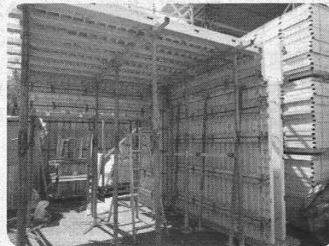
1月7日に新型「アルミ支柱」の荷重試験を実施しました。破壊荷重=6.4トンと、ほぼ期待通りの値を出すことができました。これでまた一步前進です。

型枠・土工 フォービル

(本社・大阪市旭区赤川2ノ2ノ23)

◇新工法で生産性向上

ガッチの試験組み立て



新工法にさらなる研究開発

前身の森本工務店(1922年創業)の廃業に伴い、2003年に設立。資本金2450万円。生業は建築・型枠・躯体工事など。森本工務店時代から職人の社員化を実践してきた数少ない1次下請け業者でもある。

森本隆之会長は、本業に加え、新工法の研究・開発にも積極的で、年商は10億円に近い。2年前に考案した支保工のピンポイント工法は、従来のパーマネント工法で4週間近くかかっていた梁・スラブのパイプサポートの存置期間を大幅に減少。構造解析を繰り返すことで、パイプサポート位置を必要最小限で割り出す仕組みだ。「搬入資材量、運送費、荷揚げの手間などを削減できる他、パイプサポートはコンクリート打設後、3~4日で取り除くことが可能で、仕上げ工程にも素早く着手できるので、全体の工期短縮にもつながる」という。実績は1400件に上る。

また、従来のベニヤに換わる新たな型枠材を組み合せシステム型枠「ガッチ」として特許登録。型枠を子どものおもちゃのブロックのような組み合わせで作るもので、社内での使用実績を積み重ね、改善を図りながら実用化を目指している。「今年4月には建設業界に向け展示会を開く」と意欲的だ。

昨年、建設さわやか新聞の主宰、川口様から、電話を頂戴し、専門工事業者で意欲的に頑張っている会社として、建通新聞社に紹介したいと言う話をいただきました。

もちろん、ありがたいお話ですので、取材に来ていただきました。

その時に、ピンポイント工法と、組合せシステム型枠「ガッチ」のお話をさせていただきました。

誠実に真面目に頑張っていると、こうしたお話をいただいたり、ありがたいことです。

世間で言う、おいしい話を追いかけるのではなく、世間様のお役に立てるように考え、自分の力で切り開く努力を貫けば、誰かが応援してくれることがあるのです。(拝)

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

休業災害ゼロを達成!

皆様の努力のおかげを持ちまして、「休業災害ゼロ」を達成することができました。一昨年も休業災害ゼロを達成していますので、2年連続の達成となりました。型枠工事と言えば、高所や足場上での作業も多く、重量物を取り扱ったり、鉄筋組作業とラップして足元が悪かつ

たり、電動工具を扱ったりと、職種で言えば、事故の多い職種であると思います。そうした悪条件の中で、2年連続「休業災害ゼロ」は立派な成績であると思います。

今年も、注意を怠ることなく、毎日の安全作業を心がけていきましょう。今月も事故がありませんように。(拝)

2016年 安全成績

■現場災害 H28.1.1-H28.12.31

休業災害	----	0
不休災害	----	1
物損災害	----	0
その他	----	0
合計	----	1

■交通災害 H28.1.1-H28.12.31

人身災害	----	0
物損災害	----	1
合計	----	1



